

ももさねの美  
清流の旅

日本画の巨匠と  
陶芸の人間国宝

岐阜県美術館名品展

9 / 18 (土) - 10 / 31 (日)

※9月18日(土)は午前11時開場 ※10月12日(火)は休館  
 【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
 【主催】福井県立美術館 【共催】福井新聞社  
 【料金】一般・大学生 1,000円、高校生 600円、小学生 300円  
 \*20名以上の団体は2割引 \*障がい者手帳等をお持ちの方とその介助者1名は半額  
 \*本展チケットで同時開催のテーマ展「見せませす、魅せませす 日本の美、つくししの逸品」もご覧いただけます。\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場制限や中止をする場合があります。



加藤卓男「三彩花器 銘狭容」 平成2(1990)年  
 Fukui Fine Arts Museum  
 福井県立美術館  
 〒910-0017 福井市文京3-16-1  
 TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459

「岐阜県美術館名品展」関連事業

記念講演会

「岐阜県美術館コレクションの歩み」

【参加無料・申込不要(先着40名)】

- 講師/青山 訓子氏(岐阜県美術館 学芸課長)
  - 9/19(日)14:00~15:30 ●会場/美術館講堂
- 岐阜県美術館のコレクションについて、日本画の巨匠を中心にお話します。



岐阜県美術館  
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

宇佐江みつこ ネコ似顔絵会

【参加無料・要事前申込(先着10名)】

- 作家/宇佐江 みつこ氏(『ミュージアムの女』著者)
  - 10/24(日)13:30~、14:45~、16:00~(1人約20分、各回3名程度)
  - 会場/美術館喫茶室ニホ ●申込/美術館ホームページからお申込ください
- 岐阜県美術館を舞台に美術館スタッフとしてのエピソードを四コマ漫画でつづった『ミュージアムの女』(KADOKAWA(2017年)、岐阜県美術館twitterにて更新中)。その著者である宇佐江みつこ氏に擬人化ならぬ、擬猫化(?)した似顔絵を描いてもらえる「似顔絵会」を開催。あなたも猫になってみませんか。



Go Gifu "Timeless Japan, Naturally an Adventure" 上映会

【入場無料・申込不要】

- 会期中通期(見どころ解説会開催中は休止) ●会場/美術館講堂(無料エリア)
- 映画「ダ・ヴィンチ・コード」に参画した撮影チーム(フランス)が手掛けた岐阜県PR動画を特別上映。

ミュージアムコンサート

【参加無料(要展覧会チケット)・要事前申込(先着25名)】

- 10/9(土)18:00~約1時間 ●会場/美術館展示場
  - 申込/美術館ホームページからお申込ください
- 秋の夜長、フルートとピアノのしらべで巡る美の世界。



水谷 優子氏(フルート)



伊藤 明美氏(ピアノ)

見どころ解説会

【参加無料・申込不要(各回先着40名)】 ●講師/展覧会担当学芸員

- 9/25(土)、10/2(土)、9(土)、16(土)、各回10:30~約20分間
- 会場/美術館講堂

キッズミュージアム

SuchSuchSuch

アトコミュニケーション作品  
 あんな そんな こんな  
 SuchSuchSuch  
 あんな感じがする、そんな感じがする、こんなが感じがする



「ナンヤローネ アートツアー SuchSuchSuch」

【参加無料(要展覧会チケット)・要事前申込(各回先着15名)】

- 10/23(土)、10/30(土)13:30~約2時間
- 会場/美術館展示場等 ●申込/美術館ホームページからお申込ください
- 講師(10/23のみ)/岐阜県美術館教育普及係、アートコミュニケーター
- 協力/福井県立美術館ボランティア

岐阜県美術館から参加型アートコミュニケーション作品「SuchSuchSuch」が福井にやってくる! 作品を見て感じたあんなこと、こんなことを話しながら楽しむ鑑賞プログラムを岐阜県美術館アートコミュニケーター(愛称:~ながラー)と福井県立美術館ボランティアのコラボにて開催します。

美術館喫茶室ニホ 学芸員トークサロン

【参加無料・要事前申込(先着10名)】 講師:展覧会担当学芸員

- 9/26(日)18:00~約1時間
- 会場/美術館喫茶室ニホ
- 会費/無料(お飲み物をご注文ください)
- 申込/美術館ホームページからお申込ください

◎展覧会中は特別コラボメニューをご提供します。是非ご賞味ください。



岐阜県アンテナショップ  
「THE GIFTS SHOP」登場!

デザイン性に優れた雑貨、素材にこだわったおいしい食品など、岐阜ならではの良品をセレクト。名産、特産品で岐阜をお楽しみ頂けます。岐阜県美術館オリジナルグッズも充実!



美術館ホームページからのお申込は、コチラから



○新型コロナウイルス感染状況等によっては、内容変更または中止させていただく場合があります。予めご了承ください。○事前に美術館ホームページ等での確認をお願いします。○入館時にマスクの着用、手指消毒、検温、連絡先の記入等にご協力いただきますようお願いいたします。



交通のご案内

- コミュニティバスすまいる JR福井駅前西口(6番のりば)より、北ルート(田原・文京方面)「藤島高校前(県立美術館前)」下車
  - 京福バス JR福井駅前西口(2番のりば)より、23、25、26、27、28系統「藤島高校前」下車 ※日曜日、祝日は運休
  - 福井鉄道・えちぜん鉄道 「田原町駅」下車徒歩8分
  - 車・タクシー JR福井駅より約8分、北陸自動車道・福井北ICより約15分
- ※ご来館の際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。  
 ※お車の際はアイドリングストップにご協力ください。

Fukui Fine Arts Museum  
 福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1  
 TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459



# ももさねの美 清流の旅

## 日本画の巨匠と 陶芸の人間国宝

岐阜と福井は隣県同士として、古くから人やものが往来し合う豊かな関係を結んできました。この絆は、中部縦貫自動車道の整備に伴い今後一層の発展が期待されています。本展は岐阜・福井交流のシンボルとして両県立美術館の連携による展覧会です。「百岐年(ももさね)」を枕言葉に岐阜をうたった『万葉集』の歌を道しるべに、岐阜県美術館の名品から厳選された美をご覧いただきます。福井ゆかりの岡倉天心が創設した日本美術院に初期から参画した川合玉堂、そして天心に見出され、再興日本美術院の未来を担った前田青邨。近代から現代に至る岐阜を代表する巨匠たちの日本画。さらに、人間国宝を数多く輩出する岐阜ならではの陶芸まで、山水と歴史により醸成された作品を通して、清流の国・岐阜をめぐる「美と物語の旅」をご堪能ください。

### 岐阜県美術館名品展

#### かぎろひの乙女

#### 加藤卓男

かとうたくお  
(1917-2005)  
岐阜県多治見市生まれ。ベルシャの古陶研究に力をそそぎ、幻の陶器といわれたラスタライ彩や三彩を復元。宮内庁の委嘱で、正倉院三彩の復元制作にも成功した。人間国宝。

#### いにしえの色



加藤卓男「三彩花器 銘爽容」平成2(1990)年

#### 川合玉堂

かわいぎょくたう  
(1873-1957)  
愛知県に生まれ少年期を岐阜市で過ごす。はじめ京都で学ぶが橋本雅邦の《龍虎図》に感動し上京、岡倉天心、雅邦に入門。四条派と狩野派を融合させ日本の山水を詩情豊に描いた。

#### たゆたひ遊ぶ



川合玉堂「翁飼図」明治35(1902)年



川合玉堂「養老園」明治35(1902)年

#### 前田青邨

まえだせいそん  
(1885-1977)

岐阜県中津川生まれ。若き日に岡倉天心から「にこりを取りなさい」との指導をうけ発奮。武者絵など歴史画を得意とし、琳派の装飾性も採り入れながら独自の洗練された画風に到達した。

#### ますらおの眼差し



前田青邨「応永の武者」昭和22(1947)年

#### みやび寿ぎ



前田青邨「祝日」昭和17(1942)年 ©Y.MAEDA & JASPAR, Tokyo, 2021 E4340

#### 玉舎春輝

たまやしゅんき  
(1880-1948)

岐阜県高山市生まれ飛騨市の養家で育つ。京都で山元春孝(しゅんきよ)に師事し春輝と号する。官展を離れ、明朗な風景画や歴史画に多くの優品を残した。



玉舎春輝「貴妃追夢」大正14(1925)年

#### 荒川豊蔵

あらかわとよぞう  
(1894-1985)

岐阜県多治見市生まれ。宮永東山、北大路魯山人のもとで作陶。岐阜県可児(か)に市大宣(おおがや)に桃山時代の窯跡を発見し、その地で生涯を古志野、瀬戸黒の再興に捧げた。人間国宝。

#### さわらびの春



荒川豊蔵「志野茶碗 銘早春」昭和53~54(1978~79)年頃

#### 塚本快示

つかもとかいじ  
(1912-1990)

岐阜県土岐市生まれ。小山富士夫らに学び、中国北宋期の白磁、青磁を中心に研究し、清新で繊細な作風を示した。現代に息づく陶磁を重視し、日用品の創作も積極的に行なった。人間国宝。

#### 水くくるとは



塚本快示「青白磁大皿」昭和54(1979)年

#### 奥田元宗

おくだげんそう  
(1912-2003)

川合玉堂の弟子。児玉希望に師事し、疎開した郷里の美しい自然の中で、人物画から一転して風景画に開眼。「元宗の赤」と称される鮮烈な赤を主調に、実景をもとに心象風景を追求した。

#### あかね燃ゆる



奥田元宗「紅嶽山雲」制作年不詳

川合玉堂「日光裏見瀧」明治36(1903)年頃

#### はるばる来ぬる

#### 秋の旅



#### 大橋翠石

おほはしすいせき  
(1865-1945)

岐阜県大垣市生まれ。明治期パリ万国博覧会で、日本人画家として唯一の金メダルに輝き、セントルイス万博でも連続して金賞受賞。当時世界で最も高く評価された「虎の画家」。

#### 虎視眈々

#### はるかなる山



大橋翠石「虎図」昭和13(1938)年頃



#### 同時開催 福井県立美術館テーマ展

## 見せませす、魅せませす 日本の美 うつくしの逸品

重要文化財 《世界及日本図屏風》をはじめとした福井ゆかりの「美」を大公開！



重要文化財《世界及日本図屏風》右隻(部分)



重要文化財《世界及日本図屏風》左隻 桃山時代(16世紀)

福井県立若狭歴史博物館蔵